

放射線部 たより

＊Radiation News＊

Vol.2 , 2021(Oct)



地域の皆さまへ ～「放射線部たより ＊Radiation News＊」をお届けします！～

骨密度検査の紹介

DPX-Bravo

GEヘルスケア・ジャパン

骨密度検査とは：骨に含まれるカルシウムなどのミネラル類の量（骨塩量）を測定する検査です。このミネラルが不足してくると骨がもろくなり骨折しやすくなるため、骨粗しょう症や代謝性骨疾患の診断が可能です。

検査部位：腰椎、場合によって大腿骨頸部（股関節）を追加します

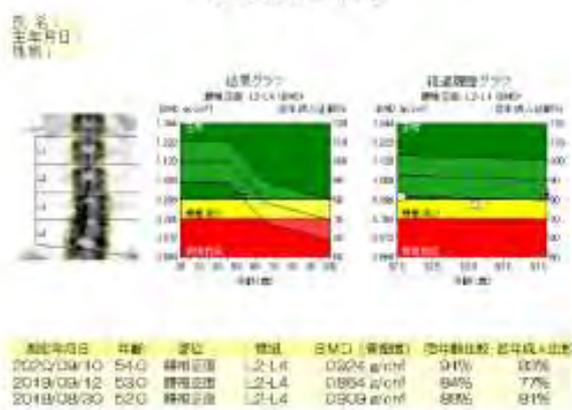
腰椎、大腿骨頸部は骨粗鬆症による骨折が生じやすい部位で、その当該部位を測定することで直接的に骨の状態を評価することができます。

検査の流れ：①金属類やプラスチックを外し検査着への着替えをして、貼り薬などを取り外していただきます。②検査台に仰向けに寝ます。呼吸は楽にさせていただいて結構ですが、体を動かさないようにしてください。③検査時間は測定部位によって異なりますが、10分～15分程度です。

装置の特徴：他の方法と比べて非常に測定精度が高いDXA (Dual Energy X-Ray Absorptiometry)法を用いて測定しています。測定に用いるX線はきわめて少ない量ですので、気軽に検査を受けていただくことが可能です。



骨密度測定結果



※※《 Topics 》※※

当院では認知症の早期発見のサポートをする MR 検査 (VS-RAD : ブイエスラド) を導入いたしました。ブイエスラドとは、アルツハイマー型認知症でもっとも早期に萎縮が見られる海馬傍回付近や、レビー小体型認知症で見られる背側脳幹の萎縮を関心領域として、MRI の画像から評価するものです。先ほど挙げた海馬傍回付近は非常に小さいため人間の目で萎縮を確認することが難しいと言われていましたが、ブイエスラドを用いることによってコンピュータによる客観的な評価をすることが可能になりました。

検査は通常の頭部 MRI 検査と同じで、食事制限はなく、検査前後も普段通り生活をしていただけます。検査終了後、通常の MRI 画像と合わせて関心領域の萎縮の程度を評価した解析レポートを添付致します。当院の主な認知症の画像検査は RI 検査でしたが、今回新たに加わったブイエスラドを認知症診断の補助としてどうぞご活用ください

検査についての申し込みは、地域医療連携室にお問い合わせください。

【シリーズ より安全な造影検査を目指して！】

その 1 : 総論

ご紹介いただいた検査にも、いろいろなトラブルを引き起こす可能性が少なからず存在しています。MRI の検査では、体内金属（特に心臓ペースメーカーや脳動脈瘤クリップ、体内に埋め込まれた生命維持装置など）が、生命に危険を及ぼすことが知られています。

また、造影検査では、副作用の危険性があるため、先生方には、検査の申し込み時に患者さまへの「問診」をお願いしています。造影剤を使用することで、診断能が格段に向上するメリットがありますが、その一方で造影剤投与によるリスク（血管外漏出や副作用など）を考慮して造影剤を投与することが重要です。

【安全情報】

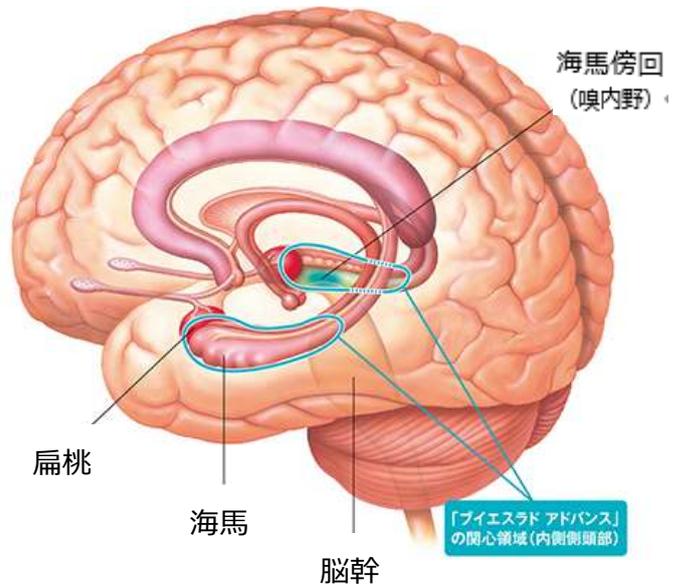
～画像診断報告書の見落としに注意～

公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部から、「画像診断報告書を確認しなかったため、検査目的以外の所見に気付かず、治療が遅れた事例が報告されています。」

★★編集後記★★

新型コロナウイルスと日々闘い、あっという間に 1 年も残り 3 ヶ月となりました。放射線たよりの第 2 巻を発刊することができて、ホッとしています。継続は力なり！引き続き、地域の皆さんに愛されるりんくう総合医療センターの「放射線部」になれるように情報発信をしていきます。(中前)

『VS-RAD』はじめました！



日本老年精神医学会 AD の診断/治療のマニュアル より

造影剤の副作用の原因は、様々で予知することは困難です。過去に造影剤の副作用歴が無くても副作用が発生することもあります。

そこで、副作用の危険因子の確認や過去の造影剤による副作用歴やアレルギー歴、腎機能 (eGFR 値) の情報は、必要不可欠です。

また、ビグアナイド系糖尿病薬の服用患者さまに、ヨード造影剤 (CT 検査) を投与すると一過性に腎機能が低下し、ビグアナイド系糖尿病薬の腎排泄が減少します。その結果、乳酸アシドーシスを引き起こす危険性があります。緊急検査を除いて、ヨード造影剤を投与する場合は、ビグアナイド系糖尿病薬を一時的に休薬するなどの適切な処置を行うことが推奨されています。

当センターへご紹介頂いた検査は、「画像 (CD) と画像診断報告書 (印刷)」をお返しさせていただいています。

必ず、両者をご確認いただき、ご不明な点などありましたら、お問い合わせいただけますよう、お願いします。

放射線部たより (Radiation News)

放射線科・放射線治療科・診療支援局放射線部門
発行責任者：稲場文隆 (放射線部 部長)
編集責任者：中前光弘 (放射線部 副部長)
Vol. 2 発行日：2021 年 10 月 1 日